

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	21144	
事業名	中央図書館センター機能整備費						
評価担当課	所属名	教)中央図書館 利用サービス課					
	課長名	今堀 永	担当者名	郊都木 勢津子	電話番号	011-512-7320	
施策名	主	—					
	副						
アクションプラン	○ 対象 ● 対象外		戦略ビジョン	○ 対象 ● 対象外			
事業の性質	● 経常経費 ○ 臨時的経費						
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理						
事業内容	実施形態	● 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他					
	目的	短期	市民の読書活動や学習活動に寄与する。				
		長期	同上				
	取組内容	市民の読書活動や学習活動を支援するため、中央図書館の図書資料及び視聴覚資料の整備を行い、センター館としての機能充実を図る。					
	実施結果	政令指定都市の市民一人あたりの平均冊数に及ばないものの、地区図書館・図書室との収集範囲の棲み分け等を行いつつ、センター館に相応しい調べもの資料や郷土資料、比較的専門性が高い資料などを優先して収集し、機能の充実に努めた。					
事業実施における工夫点	市内の各図書館施設に寄贈される図書のうち、中央図書館で集中的に収集している郷土資料等については、中央図書館へ集約する仕組みを構築するなど、購入のみに頼らない収集方法を模索している。						
対象者	市民、市内に通勤・通学している他市町村民			開始	0 年度	終了	0 年度
関連法令・条例・要綱等	図書館法・札幌市図書館条例・札幌市図書館条例施行規則						
他都市の状況	政令市中央館市民1人当たり冊数(『日本の図書館2021』及び各市HPより) 最多:岡山市1. 73冊、最少:京都市0. 19冊、平均0. 74冊 札幌市:0. 46冊(20政令市中16位)						

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費	18,747	20,000	18,999	20,000
うち特定財源	0	0	0	0
人工	0.0	0.0	0.0	0.0
人件費	0	0	0	0
計(事業費+人件費)	18,747	20,000	18,999	20,000
事業費の内訳	令和3年度決算	図書購入費等 18, 999千円		
	令和4年度予算	図書購入費等 20, 000千円		

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	中央図書館蔵書冊数(冊)									
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定							
	857,863	870,000	865,023	870,000							
活動指標2	指標名										
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定							
成果指標1	指標名	中央図書館貸出冊数(冊)									
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標							
	958,807	983,330	873,441	983,330							
成果指標2	指標名										
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標							
項目	判定	理由									
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	限られた資源(予算)を最大限活用(節約保留分を除いた予算執行率99.9%)し、事業を実施した。また、選書の工夫や寄贈本の活用により、利用者からは一定程度の満足度を得ていると考えている。									
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	B	図書館の運営や維持管理に係る経費を確保するため、図書購入予算は年々減少傾向にある。現状でも、センター館としての市民一人あたり蔵書冊数の政令市平均(0.74冊)には及ばないため(札幌市0.46冊)、限られた予算で購入図書を厳選しつつ、寄贈の活用により機能の充実に努めている。									
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	センター館として所蔵すべき資料を選定して購入し、寄贈本を積極的に活用するなど、工夫しながら事業を実施している。									
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	札幌市のセンター館として、内容及び数量ともに相応しい蔵書や視聴覚資料を揃えることは、市民の読書活動や学習活動における多様なニーズに応えるうえで必要不可欠である。現状では十分とは言えないものの、選書の工夫や寄贈本の活用により利用者からは一定程度の満足度を得ていると考えている。									
市民参加の実施	☐ 企画 ☐ 実施 ☐ 評価 ☒ 対象外 市民参加結果への対応 ☐ 回答 ☐ 反映										
今後の改善点	事業費の確保とともに、寄贈本の活用や効果的な選書を継続していく。										
前回の評価	☒ A ☐ B ☐ C ☐ 評価省略対象事業・前年度実施なし										
今年度取り組んだ見直し内容	寄贈本の活用や選書の工夫		見直し効果額 (前年度)	0	千円						
今回の評価	☒ A ☐ B ☐ C ☐ 評価省略対象事業・前年度実施なし										
評価の理由	限られた資源(予算)を最大限活用したため。(節約保留分を除いた予算執行率99.9%)										
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	☐ 改善 ☒ 現状維持 ☐ 休止・廃止 図書購入費の確保とともに、寄贈本の活用等により蔵書数を確保したい。									
	予算	☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ その他 予算減少が続き、センター館として収集すべき資料が十分購入できていないことから、購入予算の確保が重要である。		見直し効果額	0 千円						